

道路管理は私たちで。 道路里親制度〔7/26〕

道路里親制度とは、茨城県管理の道路を「里子」に、沿道のボランティア団体を「里親」にたとえて、道路の清掃美化活動を県に代わって行ってもらう制度です。このほど、「下市毛まちづくり同好会」が道路の里親に認定され、7月26日、友部公民館で協定書の調印式と認定証の交付式が行われました。認定された道路は、笠間駅南の主要地方道笠間・つくば線のうち約1.3キロメートルの区間。県が用具の支給などを



茨城県道路里親制度
協定書調印式及び認定証交付式
里親になった「下市毛まちづくり同好会」の代表の皆さん(中央の4人)

を行い、市はごみ処理を支援するなど、県・市・団体が一体となって管理を行います。

地域コミュニティ活動の活性化 のために～宝くじ助成事業で備品を整備～

このほど、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、関戸農村集落センターにレクリエーションや学習活動などに必要な備品を、平区会に夏まつり用具を整備しました。この事業では、宝くじの普及及び広報を目的として、地域のコミュニティ活動に必要な施設や備品の整備を助成しています。



和太鼓(平区会)



カラオケセット
(関戸農村集落センター)

稲荷町子ども会が全国優良表彰〔8/10〕

稲荷町子ども会(会長:塚本麻友さん、育成会長:高丸淳己さん)が、優良団体として全国子ども会連合会の表彰を受け、8月10日、茨城県立白浜少年自然の家(行方市)で伝達されました。同子ども会のメンバーは61人。未就学児から中学3年生までの会員が元気に活動しています。特に、「笠間のまつり」では、独自のねふた制作に毎年約2か月を費やし、何もないところから“ものづくり”に取り組むなど、町内会と一体となってさまざまな体験を楽しんでいます。



表彰の伝達を受けた稲荷町子ども会の皆さん

旧友部町・岩間町を中心に、昭和30年代後半から栽培が盛んになった栗。昭和

60年には、友部町一円で茨城県銘柄推進産地の指定を受けています。銘柄推進産地とは、その品質が市場関係者や消費者から高い評価を受け、銘柄産地化に意欲の高い産地として知事が指定した地域をいいます。現在は、農家戸数925戸、栽培面積は笠間市全体で837ヘクタールと、全国でも有数の栽培面積を誇り、年間約1,000トンが市場に出荷されています。出荷期間は8月下旬から10月下旬。9月に入り、これから出荷の最盛期を迎えます。

問合せ先：農政課農業振興グループ（内線525）



笠間生まれ・笠間育ち

笠間の特産物

② 栗



災害時の応急作業

市内管工事組合と協定を締結〔8/6〕

災害時における水道施設の応急作業に関し、8月6日、笠間市役所で、市と同市管工事組合(組合長:山口栄さん)が「市水道施設における災害時の応急作業に関する協定書」に調印し、協定を締結しました。この協定は、地震・風水害等自然災害及び事故等によって配水管等の施設に被害があった場合、市の要請に応じて同組合が復旧作業に協力するものです。

また、組合に加盟する19社は、所有する自動車に「かさまっ子見守り隊」と書かれたステッカーを貼り、子どもの安全パトロールにも協力しています。



協定を締結した山口市長と管工事組合の皆さん



車に貼られた「かさまっ子見守り隊」のステッカー

ま ち の 話 題

不法投棄は許さないぞ！不法投棄ボランティア監視活動がスタート

近年、市内での不法投棄が絶えません。そこで笠間市では、不法投棄を市民と協働で撲滅しようと、公募による一般市民17人をボランティア監視員に任命し、7月20日、笠間市不法投棄ボランティア監視員の発足会議を開きました。集まった皆さんは、不法投棄



不法投棄ボランティア監視員の皆さんによる発足会議

をなくしたいという熱意に燃えた方々で、監視パトロールや未然防止のための啓発活動を行います。

第2回笠間市小学校相撲大会〔8/3〕敬称略

◆団体戦

優勝:穴戸小A

準優勝:友部小

第3位:笠間東小A

第3位:笠間東小B

◆個人戦(優勝者)

1年生:杉山勘太(稲田小)

2年生:川口直城(笠間東小)

3年生:中村佳暉(笠間小)

4年生:石川 学(穴戸小)

5年生:川井誉久(友部小)

6年生:木暮拓磨(穴戸小)

女子1・2年:松山実玖(箱田小)

女子3・4年:太田理乙(箱田小)

女子5・6年:崎野紗衣(穴戸小)

第31回茨城県少年相撲大会〔7/15〕敬称略

◆団体戦

準優勝:友部相撲少年団A

◆個人戦

5年生優勝:川井誉久(友部小)